

4月～6月 第40回全国総会成功特別期間

特別期間の目標をやりきりましょう

★300名の宮城県同盟実現（全国は2万名に）

★「国会請願署名」と「憲法署名」ひとり30筆を

◆塩釜支部は、前支部総会時から、6名が「死亡・施設入所」などで（自然）退会しましたが、新たな会員さんを向えて、「会員減」を克服しました。仙台支部は、「近現代史学習会」や「映画『千代子』実行委員会」の活動などで新会員を向かえて、支部会員数100名を超えて、さらに増勢をめざしています。

各支部では、拡大目標を定めて、会員拡大に取り組

んでいます。知人の紹介など、会員の皆さんのご協力をお願いします。

◆「国会請願署名」は、昨年実績の2倍までに迫っています。同盟では、「憲法署名」とセットで会員ひとり30筆をお願いしています。まずは家族に、そして知人に、もうひと回りの活動の拡がりをつくりましょう。

◆ロシアのウクライナ侵略に全世界の怒りが集中します。一方で、安倍晋三ら

の戦争推進勢力は、日本を戦争する国へと、策動を強めています。これへの断固たる反撃は、私たちの組織と運動の拡大ではないでしょうか。ガンバロー

国会請願は、5月11日に行います。「コロナ禍」で、首都圏対応の行動になってましたが、今年は、宮城県代表を派遣します。代表派遣にふさわしい実績をつくって、送り出しましょう。

署名の集約は、5月6日です。県本部または各支部に、届けてください



No.574号付録
宮城版No.396

2022年4月

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
宮城県本部

980-0022
仙台市青葉区五橋
1-5-13
県労連会館3F
国民救援会気付
☎022-222-6458

劇映画「わが青春つきるとも」試写会

5月12日 13:30、18:00

仙台メディアテーク 7F

会場の都合上、「制作協力券」をお持ちの方を優先し、協力券番号を示していただき、先着登録制とします

〈登録受付〉4月27、28、29日

電話：090-4312-1418（小野） 070-5321-3109（三島） FAX：022-222-6450（事務所） Eメール：hrc28@kki.biglobe.ne.jp（佐藤）

武力行使・「核抑止力」戦略では、なにも解決できない 「ロシアは侵略やめよ」の声とどけ

宮城国賠同盟事務局長 三島隆司

貧困解決へまじぐらに走った伊藤千代子の待望の劇映画「わが青春つきるとも」が完成し全国上映が開始されます。

宮城県でも県内全域の上映日程掲載のチラシとチケットが多く関係者や県内の協賛する団体はじめ、各実行委員会で数度の協議を重ね意見を交わして英知を集め素敵な案内チラシができました。

手作りの映画の上映です。チケットとチラシの印刷が4月8日に宮城国賠同盟事務所に届き、自主上映運動の取り組みの半分までできました。

これまで、宮城国賠同盟で

での治安維持法が吹き荒れた時代に社会の変革に関わった人や、「憲法」に関わり深い人や史跡もあり、当時の歴史が垣間見られます。

先人は声をあげ運動をひろげつないできました。今は、「戦争反対」と、言え・書き・伝えたりできます。ITなども使って声をあげましょう。

24歳の生涯の伊藤千代子は第一回普選で東京から支援し北海道の小樽の仲間とながりました。これを小説に書いた小林多喜二の「母」の上映も県内各地で行ってきました。『平和は眠りを許さない』と宮本百合子は言いました。連綿と私たちの心の糧は増し、絶えず成長してジェンダー平等や核兵器廃絶の運動を進めています。

「わが青春つきるとも」の

映画に、多くの人々によびかけ、鑑賞を勧めましょう。

ロシアのウクライナ侵略を機に、安倍晋三ら極右勢力は日本をアメリカの核基地にする「核共有」政策を政府に申し入れたり、憲法改悪への謀略をすすめています。彼ら極右勢力に断固たる反撃を加え、7月予定の参議院選挙に勝利しましょう。

宮城国賠同盟は「ふたたび戦争と暗黒政治を許すな」と、運動をすすめてきました。

来る5月11日は、国会を包囲し、署名の請願を行います。いま、県内各地の国賠同盟員の皆さんと力を合わせて、会員と請願署名の拡大をすすめています。声掛け合ってもにがんばりましょう。

「19の日」行動・塩釜支部 ロシア軍は即時撤退せよ

3月18日、みぞれ交じりの雨が降る中、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟塩釜支部と塩釜春闘共闘・塩釜地方労連は、「戦争法廃止」を訴える「19の日」行動を塩釜市・多賀城市内で106回目の宣伝行

動を行いました。

日に日に戦火が広がり、すでに二百万人が命の危険にさらされているウクライナ人が国外に避難を余儀なくされ、多くの市民が日常生活を奪われ、市街地が壊滅、恐怖と不安に中にいる子供たちの姿に心が痛み、居ても立つても居られない思いです。

17日、坂総合病院玄関前で、ロシアとウクライナにご両親を持つ塩釜在住の高橋エレオノーラさんは「ウクライナからのロシア即時撤退」と「ウクライナ支援強化」を求めて「お父さんとお母さんの国が争い、毎日のニュースに心を痛めている、一人ひとりの命を大切にすると平和を一日も早く取り戻したい、怒りと悲し

みではなく、愛と優しさを」と日本の着物姿で手に花を持ち訴えました。日本から、世界から「戦争はやめよ」「プーチンは侵略をやめよ」と抗議の声をもつと大きく広げて一刻も早く停戦によって話し合いによる解決の道を切り拓こうと呼びかけました。

翌日の「19の日」行動では、プーチンの侵略行為を利用して日本の核武装を議論すべきだと政府に申し入れたり、安倍元総理大臣が「非核三原則をタブー視せず核武装の議論を」と主張したりする動きなどは、核使用の脅かしと同じ立場に身を落とすものだとして糾弾、憲法9条を持つ日本が果たすべき役割は、国際法を守れ!! 国連憲章を守れ!! 国際人権条約を守れ!! 国際社会が力を合わせようと呼びかけ

ることではないでしょうかと訴えました。宣伝では、アベ・スガ・岸田と続く自公政権は、国民に冷たい政治を行っており、口先で「国民の命と暮らしを守るのが政治の仕事だ」と言っても、やっていることは真逆な政治だ。一向に進まないコロナ対策、医療破壊の抑制政策を押し通し、年金削減、高齢者医療費窓口負担増、低賃金構造政策、雇用不安、物価高などなどで将来生活に希望が持てない社会が続くばかりです。もはや政権交代へしか、命と平和を守る道はありません。夏の参議院選挙で、国民の意思をしっかりと示そうではありませんかと訴えました。通行人から、車両内から、連帯の手ぶりや会釈を頂きました。

塩釜支部 上西寛



女性部・仙台支部

「近現代史学習会」

第14章「第2次世界大戦と日本の武力南進」

2月は、コロナ・オミクロン株の流行で休会でした。3月は、12名の参加でした。レポーターは、当初の予定を変えて小野が代行しました。

ロシアのウク

女性部・仙台支部学習会 第2弾
「日本近現代史を読む」⑬

ライナ侵略が満州事変と似ていると言われていることから、15年戦争に突き進んだ満州事変を、はじめに復習しました。戦争突入の前夜、1928年（第1回普通選挙が

行われた年）治安維持法が死刑を含むものに改正、伊藤千代子らが逮捕された3・15事件等戦争反対勢力への大弾圧が行われている。

第一次大戦後のヨーロッパでは、イタリアとドイツでファシストが台頭し、イタリアではムッソリーニが、ドイツではヒットラーが一党独裁を実現。日中戦争の全面化が伏線となり、日独伊の防共強化、1940年9月の日独伊三国同盟の締結がなされ、これを背景に日本の南進路線の展開となっていく。ドイツは戦時における仮想敵国をソ連だけでなく英米に広げていこうとしていた。1937年～1939年日本は、ソビエトとの国境紛争では大損害を被っている。なおこの時期には731部隊による細菌戦も行われて

いた。日本は、すでにソビエトの強力な軍事力も、米国の戦争でも勝ち目はないことを知っていたのに、陸軍も海軍も判断を後延ばしにしていた。1939年9月 ドイツがポーランドに侵攻、英・仏はドイツに宣戦布告する。ドイツとソ連は不可侵条約を秘密協定し、ポーランドを分割する。1940年4月ドイツが北・西欧での電撃戦開始、オランダ・フランスの占領をするに及び、対独提携論が再度復活する。東南アジア植民地と宗主国である英・仏・蘭が戦争に敗北すれば、3国の植民地はすべて独領になってしまう、ドイツと同盟を結び、戦後の植民地再分割の発言権を確保したい。援蒋勢力（蒋介石を支援する西欧列強諸国）の中心である英が敗北すれば、

日中戦争も解決するとの期待もあった。1940年、近衛文麿首相が中心となり、アドルフ・ヒットラーのナチス・ドイツや、イタリア・ファシスト党をモデルに、政友会や民政党が解党し、新体制運動で戦争に進んでいく。1940年7月 対独提携・「新秩序建設論」と新体制運動を背景に第二次近衛文麿内閣成立―組閣前に、三国同盟締結、ヨーロッパ植民地を新秩序に包摂するための武力南進の基本方針が定まる。1940年8月 「新秩序」は、従来のスローガン「東亜新秩序」から拡大されて「大東亜新秩序」「大東亜共栄圏」に、1940年9月 北部フランス領インドシナ（ベトナム北部）に進駐、三国同盟を結び、日本軍がヨーロッパ植民地に南進、

この段階で英・米との衝突は不可避になる。1941年4月、日ソ中立条約を締結し、更なる武力南進と英・米の封じ込めを狙う。これに対抗して、米は1940年7月航空機のガソリン、9月には屑鉄の対日輸出制限措置を取る。日本は三国同盟の圧力でアメリカを押さえようとしたが、アメリカはヨーロッパの戦争に早く介入するために三国同盟を有名無実化させようとした。1941年6月 ドイツ、ソ連への侵攻、ソ連を英米に結束させ、ドイツの予先がソ連に転じたことで、英国への軍事的圧力は緩和され、対独三選を急いでいたアメリカは独ソ開戦後、日本へ譲歩する必要性を感じなくなり、日米交渉に強硬な姿勢で臨む。日本は、独ソ開戦により世界情

勢が変化したにもかかわらず、三国同盟の圧力を背景にした強硬路線を継続。1941年7月の御前会議で①日中戦争の継続、②対英米戦争を覚悟したうえで南進、③場合に よっては対ソ戦争も実施（対英米戦争への道はほぼ動かないものに）の決定をした。アメリカは8月に対日石油輸入禁止の措置、中国からの撤兵を要求、日本国内では、備蓄石油があるうちに開戦しようという早期開戦論が台頭、1941年9月6日御前会議（第3次近衛内閣）10月下旬までに米・英・蘭への戦争準備を完了することを決定、近衛自身はルーズベルト大統領との直接会談・天皇の開戦慎重論へ期待していたが、アメリカ側の拒否にあい、近衛内閣は総辞職した。11月5日御前

会議（東条英機内閣）11月末までに日本側の要求が実現できなければ12月初旬に開戦を決定。11月26日 米ハル国務長官は、アジアを満州事変以前に戻すことを要求（ハル・ノート）、この段階ではアメリカ側は戦争準備（空母などの海軍戦力）が整っていないかつたために、交渉の引き延ばしを図っていた。11月26日 ハワイ空襲のため、海軍の空母機動部隊は、千島列島から出航、12月1日御前会議 対英米蘭開戦の最終決定、12月8日開戦 「大東亜新秩序」をつくるための戦争Ⅱ「大東亜戦争」と命名、陸軍はシンガポール攻略めざし英領マレー半島コタバル上陸、タイへの武力侵駐、海軍空母機動部隊によりハワイを、午後台湾の基地航空隊によるフィリピン

空襲を行った。開戦当初、日本軍は制空権の確保と戦力の局地的優勢により、半年の間に東南アジアの主要部を占拠。日本は東南アジアを占領し、自給自足の経済圏（石油・ゴム・ボーキサイトなどの重要資源を獲得）を建設することが戦争継続の絶対条件だった。

（文責：小野）

次回は

4月23日（土）14時
仙台サポートセンター

同盟仙台支部は、第40回全国大会の成功めざす「特別期間（4月～6月）」で、会員拡大と請願署名に取り組んでいます。劇映画「わが青春つぎるとも」の制作・上映運動では、市内全区に実行委員会を立ち上げて活動しています。

仙台太白実行委員会では、上映日を8月25日（楽楽楽

第40回全国大会の成功めざす「特別期間（4月～6月）」

劇映画「わが青春つぎるとも」の制作・上映 太白実行委員会の 取り組み

ホール）に設定し、それまでに、意外と知られていない伊藤千代子について、もっと学習をしようとする実行委員会で提案されました。3月23日に千代子が学んだ仙台・尚絅女学校について、尚絅学園大学名誉教授の野呂アイ先生に「伊藤千代子につながる青春群像」―尚絅女学校同窓生たちの学びと生き方―と題してお話してもらいました。

この準備のために実行委員の加藤さんがチラシを作成。当初太白区内だけの宣伝と考えましたが、先生が青葉区にお住まいなので、青葉区と太白区で宣伝をしました。

当日は20名の参加で盛況で、講演後に男性が戦時における教育のことで質問。また別の女性が学生時代に先生の講義を学生時代に聴きました

と自己紹介しながら質問しました。この方は青葉区にお住まいの方でした。また、民医連の病院に勤めていた元医師の方も沢山の民医連の先輩諸氏が尚絅学園の同窓生とつながりがあることを初めて教えられたなど、多彩なお話を聞くことができました。

3月30日には国民救援会仙台太白支部の総会があり、式次第に「伊藤千代子の生涯」の29分DVDの観賞を設けました。2月には年金者組合太白支部の文化祭兼誕生会のとときも特設コーナーとDVD鑑賞会を行いました。

このように実行委員会に参加する各団体で、映画の呼び掛けを行っています。そういう中での野呂先生の講義の後に県本部の横田会長が呼び掛けたら、男性が国賠同盟へ入

漫画「伊藤千代子の青春」作者

ワタナベ・コウさん講演会

5月7日（土）13:30～
宮城野区中央市民センター
第3会議室

5月8日（日）14:00～
旧県民会館 601会議室
〈資料代 300円〉

仙台太白区 三島隆司



県実行委員会事務局次長加藤嘉信

《熱気と期待がいっぱいの「完成試写会」》

映画「わが青春つぎるとも」伊藤千代子の生涯」の完成試写会に参加しました。当日は開場と同時に場内が一杯になる程の、熱気と期待が集まった試写会でした。開映前に監督さんや俳優さんたちの挨拶もあり、会場いっぱいの600人を超す参加者は大きく盛り上がりました。因みにこの会場のそばに多喜二虐殺で有名な築地警察署があります。

《真っ直ぐに成長する千代子の姿が爽やかに》

映画の冒頭、千代子が逮捕されるショッキングなシーンから映画が始まります。女学校時代の恩師・土屋文明の回想シーンの中で、諏訪高女から仙台・尚絅女学校、そして東京女子大へと学びながら、真っ直ぐに成長していく姿が爽やかに描かれてゆきます。その中で、臨時教員や紡績工場での労働争議の支援の活動の中で、社会的な視野の広がりを身につけ、大きく成長して行きます。

《「特高政治」―治安維持法の恐怖》

しかし、千代子の前に特別高等警察（特高）という国家権力が現れます。石丸健次郎さん演じる特高の迫力は満点で、見るものを画面に釘付けにします。執拗な尋問にも屈しない千代子を攻めあぐねる特高に、その上司は、「殺してもやれ」と詰め寄ります。死刑を含む治安維持法の存在です。

《「赤旗の歌」の感動シーン》

千代子は囚われの身になっても、同じ獄舎に繋がれている仲間と連携をとり励まし合います。特にロシア革命記念日を祝して歌う「赤旗の歌」のシーンは、大きな感動を覚えます。初めは小声で、やがて少しずつ声は大きくなり、やがて獄舎全体に響き渡るシーンに圧巻です。心に残る名シーンです。秀逸です。

《いのち燃え尽きるまで》

しかし千代子は、最も信頼する夫の裏切りにあい、精神的に障害をきたします。治療をくり返しますが、やがて24歳の生涯を閉じます。戦争が終わり、千代子のどんな弾圧にも屈しないその姿は、同時代に生きた小林多喜二とともに語り伝えられていきます。2時間5分。社会的な視野を持った素晴らしい映画が完成しました。どなたにもお勧めできる一級品です。



劇映画「わが青春つきるとも」上映会・日程

6月1日 名取市益田公民館（延期）

6月8日 仙台市福祉プラザ

①10:30 ②14:00

6月11、12日 塩釜・遊ホール

①10:00 ②14:00

6月17日 仙台市福祉プラザ

①10:30 ②14:00 ③18:00

6月18日 宮城野区文化センター

①10:00 ②14:00

〈6月実施分〉

Ⅱパンフレット 増刷出来Ⅱ

治安維持法の犠牲になった 高橋とみ子不屈の青春

伊藤千代子が学び「新思潮」にふれて「思想的飛躍を遂げた」という尚絅女学校の人権・平和教育と、初代校長ミス・ブゼルの「バイブルクラス」に学ぶ二高生の吉野作造や栗原基らが描かれています。

千代子と違って高橋とみ子の資料（手紙など）はほとんどありません。このパンフは、当時、高橋とみ子と一緒に活動された方々の豊富な証言で、とみ子の全体像を探っています。それらの証言は、治安維持法下の彼女ら

の活き活きとした活動の「青春群像」を展開させて、私たちにも共感できる、とても貴重なものです。

庄巻は、旭紡績のストライキです。とみ子らのたたかいが、紡績工場の女工さん達に引き継がれ、「河北」をして「統制見事なる罷業団」と言わしめる程の団結で「要求」を全て勝ち取り、全面的に勝利しました。ぜひ、「千代子」の映画鑑賞とともに、このパンフをお読みください。読むのがつらい所もありますが、きっと、元気になります

（頒価500円）

編集後記

▼ロシアのウクライナ侵略は、残虐極まる。はやく止めさせねばならない。他国へ避難する人たちが、特に子ども達の映像は、私たちをも苦しめる。私の親族にも「大陸からの引揚者」がいる。どんな気持ち

でこの映像を見るだろうか。

▼第40回全国総会は、6月12日と13日に開催される。先の39回総会では、「2020年代に同盟要求の正しい解決を得る」事を決議した。そのために組織の拡大と、自ら決めた活動目標をやりきる活動の

強化を決定した。▼折からの「コロナ」で、我々の団結の場を失う事もあったが、会員さんに活動を訴えて、様々な新しい経験も得て、小さくとも前進を勝ちとって来た。総会まで日はない。千代子の映画も含めて、ガンバロウ！